



七曲ボランティアグループ

愛宕山の海側斜面の一部を削って造成されて40年になるという七曲団地（門前山手第3自治会）は、世帯数122戸・住民数305人中、65歳以上が142人の高齢化団地です。

自治会において急速な少子高齢化が進み自治会費の支出削減のため、平成17年敬老会の祝い金を廃止した代替事業として、高齢者の集いの場「サロン七曲の会」の活動を開始しました。

平成23年、岩国市社会福祉協議会（市社協）の“これからは、地域が家族高齢者生きがいボランティアグループ募集”の高齢者が高齢者を支える趣旨に賛同し会員15人で「七曲ボランティアグループ」を結成しました。

今年4月の会員数は19人（男性5人・女性14人）60代から90代の方が登録し、活動しています。



話し相手(見守り)の活動は、特に多く 年間1300回以上の実績をあげています

一人住まいの高齢者から、日ごろ家にいて話し相手がない寂しく不安であるという声より、75歳以上の独居高齢者16人（男4人 女12人）を戸別訪問。見守りボランティア活動の趣旨を説明し、希望者の12人（男2人 女10人）から見守りの要望を聞き、見守る側との両者の承諾のもと、話し相手などをしながら見守りをしています。

活動は原則として無償ボランティアです。

市社協から一回の活動につき500円の補助がありますが、一団体へ年間24,000円が上限です。この助成金でグループの方に指定ゴミ袋を活動数に応じて配分しています。

「サロン七曲の会」では、季節に合ったお祭りや温泉旅行、自治会で始めた敬老会もサロンが全面的に協力をしています。また、二か月に一回行われる世話人会では、元民生委員だった岩政末子さんを中心に、サロン行事の計画を練りながら話も弾み交流を深めています。

また、ボランティア活動の一つの“おしゃべり会”的、時間を忘れてのひと時は、多くの高齢者に無上の喜びと楽しみを与えていたようです。

元気印のハンカチ

「緑色は偶数日」、「黄色は奇数日」と毎日、外から見える決めた位置にハンカチを吊るし、元気でいる目印としています。
毎日忘れずにして脳の活性化にもつながるそうです。



「顔の見える関係」づくり

安心して暮らす 地域とのつながり



みんなは 同じ地域に暮らす人たちの顔が わかりますか？

隣や近所の人には会ったとき、気軽に「おはようございます」

「こんにちは」と あいさつしていますか？

気軽にあいさつ出来ると、住んでいても楽しいし、なんとなく安心感がありますよね。このような隣近所とのつながりを持つことで、住民の地域に対する関心も深まり、災害時など、いざというとき、心強い地域づくりにつながります。

若者の流出や高齢化が進むとともに、近所付き合いが少ない地域が増え、自治会組織はあるものの組織の運営が難しくなっているようです。また、社会では、一人住まいの家庭や、老老介護の家庭も増えるなど状況は変わりつつあります。

この様な中、顔の見える関係づくりを進め、日ごろから、お互いに気に掛け合う「見守り」を行う関係づくりを目指し、積極的に活動をする自治会やボランティアグループも増えてきました。

今回は、そんな関係づくりを進め、地域の皆さんとともに暮らすグループを紹介します。

「見守り」って？

お互いが安心して暮らせるよう
「気にかける」ことを「継続」することです。
そうすることによって、普段ちょっと様子が違うことがあると
すぐに気づくことができます。

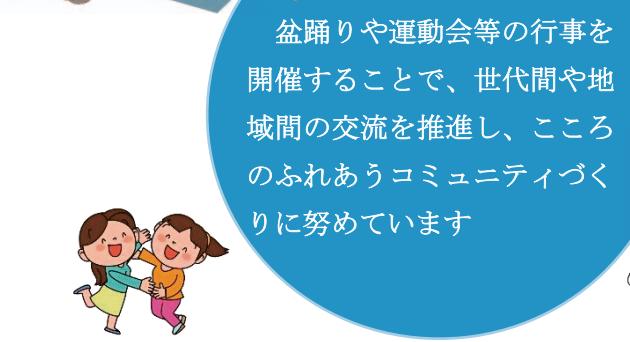


まずは できることから一つずつ進めていきましょう

近年、地域の互助意識が希薄になりつつあると言われる中、近隣住民とのつながりは災害や犯罪などの不測の事態から身を守るためにも重要性を増しています。岩国市には約800の自治会があります。しかしながら、岩国市の自治会加入率は年々減少傾向にあります。



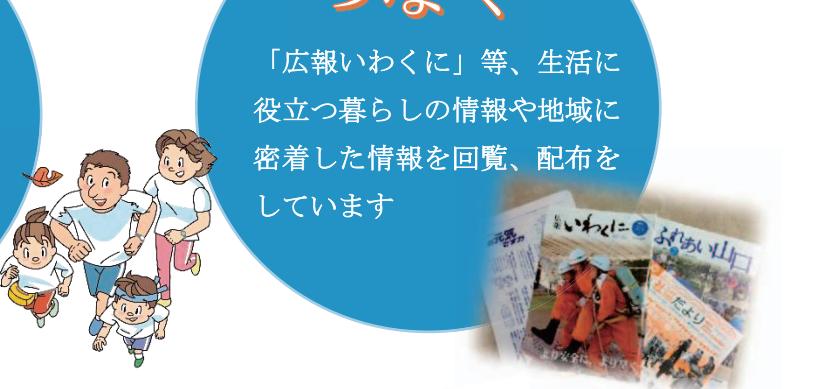
防犯灯の設置、防犯パトロール、交通安全や防災訓練など地域の安心・安全を守る活動をしています



盆踊りや運動会等の行事を開催することで、世代間や地域間の交流を推進し、こころのふれあうコミュニティづくりに努めています



道や公園・ごみステーション等をいつもキレイに使うことができるよう管理しています



「広報いわくに」等、生活に役立つ暮らしの情報や地域に密着した情報を回観、配布をしています

自治会長 今年で9年目！

川下地区連合自治会
大藪第二自治会長



山田真理子さん (54歳)

大藪第二自治会 (65世帯)

会長を引き受けたころの気持ちは？

地域とつながっていたいと思い少しでも地域のお手伝いができたらと引き受けました。
母親がボランティアや地域のお世話をしていたので、その影響もあったのか、地域やみんなの中で活動することに違和感はありませんでした。

自治会長になられて良かったと思ったことは？

隣や近所だけでなく、みんなとコミュニケーションがとれ、自治会の皆さんとの名前と顔がわかることがあります。

★ 大変だと思うことは？

仕事、子育て、家事などをしながらの毎月2回の市報の仕分けは、少々大変ですが、夫に手伝ってもらいつながらやっています。

年に数回、平日の午後からある自治会長集会への参加は、職場の有給休暇が、1時間単位で取得できるので助かります。

私に出来ることをしているだけで、特別なことは何もしていません・・・自治会の皆さんの協力があってできています。